

令和 8 年度 グループホーム創 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和 8 年 8 月 27 日（木） 14 時～15 時

開催場所 グループホーム創 地域交流スペース

出席者 利用者 男性 1 名、女性 1 名

利用者家族 1 名

地域の関係者 町内会長

福祉・経営に知見のある方 NPO 法人理事

行政の関係者 松山市障がい福祉課担当者

職員 地域事業戦略室長、グループホーム施設長

次第

1. 施設長挨拶
2. 出席者紹介
3. グループホーム創 概要説明
 - ①グループホーム創の運営方針
 - ②事業内容
 - ③利用者状況及び日常生活の様子
 - ④職員の状況及び支援体制
4. 緊急時（災害、感染）の対応について
5. 虐待防止、身体拘束適正化に関する取り組みについて
6. 施設見学
7. 意見交換

会議内容

次第 3～5 の内容について施設長作成の会議資料をもとに説明を実施し、出席者の方々から内容に関する質疑応答を行った。

質疑応答の内容は以下の通りである。

Q1：利用者に対し、レクリエーション活動はどのような事をされているのか。

A1：（男性利用者）病院の OT 活動に参加している。ホームでのレクリエーション活動はない。

（職員）ホーム内でのレクリエーション活動は現時点では入居者数が少ないため実施できていない。今後、施設内でのレクリエーション活動を企画し実施検討する。

Q2：職員の構成で各職種が何人配置されているのか。

A2：看護師 2 名、介護福祉士 1 名、ヘルパー1 級 1 名、無資格者 1 名、事務職 1 名、精神保健福祉士 1 名、サービス管理責任者 1 名となっている。看護師以外の勤務者でも利用者の安全確保の為緊急時などオンコール体制を取っている。また、訪問看護を利用されている利用者については、24 時間対応体制の契約を取っている方もいる。

Q3：日中活動先の実際について、現時点での状況はどうか。

A3：B 型作業所 2 名、生活介護 2 名、外来 OT4 名、就労先検討中 1 名である。

Q4：日中活動に参加していない方の入居も出来るのか。

A4：日中活動先が無くても入居は可能である。外部の事業所へ日中活動参加のためのきっかけづくりとして、外来 OT への参加を提案している。

Q5：地域との融和の視点で、グループホーム側から町内会に対して困りごと等はないか。

A5：現在の所、地域に対して困りごと等はない。町内会から当ホームに対する苦情等はないか。→町内会にも現在までホームへの苦情等は上がってきていない。

※町内会の方針として「ちがいを認めて共生していきましょう」としていると町内会長より説明あり。

Q6：この土地に精神障害者のグループホームが建設されることに対する地域住民の反対はなかったのか。

A6：町内会から住民に向けてグループホーム建設に関する発信はしていない。行政が正式な許可を出したことに口出しはできないしするつもりもない。直近 10 年は住民トラブルもなく経過している。

Q7：災害への備えについて、避難時の移動手段として車いすを多く準備している。普段歩ける方も精神的なショックで歩けなくなること想定しているが、創はどうか。

A7：災害備蓄は BCP に基づき準備を行っている。移動経路の安全確認ができしだい、松山記念病院に避難する計画である。車いすについては補充準備を検討する。

※町内会は簡易トイレを確保している。

町内会長より 町内会の行事への参加等から世代間交流や縦横の交流等、町内会と町内の施設が接点をもって接して行けるとよい。

以上